地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2016
4月
No.23

兵庫県立尼崎総合医療センター

［部門紹介］

リハビリテーション部「えっ! もうリハビリが始まるんですかぁ～?!」

［診療科紹介］

麻酔科／放射線センター［放射線診断科・放射線治療科］

●AGMC Movie Channel（動画配信）のご案内
●セミナーのご案内　●スタッフのつぶやき　●ぶらり～っと病院探訪

部門紹介
リハビリテーション部

「えっ！もうリハビリが始まるんですかぁ～？！」

リハビリテーション部門は、低層部分の最上階に位置し（心臓リハビリは２F）、緑豊かな屋上庭園に囲まれる環境にあります。スタッフは、医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・音楽療法士・健康運動指導士・医師事務補助、合わせて３８名で構成され、多職種連携のもと「急性期リハビリテーションの充実」を目標に駆け回っております。

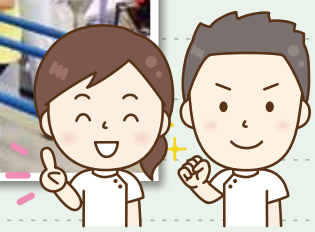
◉取り組み

入院されてきた患者さんや、そのご家族から「えっ！もうリハビリが始まるんですかぁ～？！」と驚かれることがあります。救急車で搬送れてきた翌日に、リハビリスタッフがベッドサイドに登場するわけですから…。

地域包括ケアシステムの中で、当センターは高度急性期病院と位置づけられるため、リハビリの対象も入院患者さんが中心となり、脳血管・循環器・呼吸器・運動器・がん・小児・神経難病等、疾患も年齢層も幅が広いことが特徴となっています。

また、外来においては、専門性の高い心臓リハビリ（循環器内科・心臓血管外科）、小児リハビリ（小児科）、人工内耳埋込術後（耳鼻咽喉科）、口蓋裂（形成外科）等、各科と連携しリハビリを実施しております。

リハビリ技師長　山田 典夫



◉地域へのメッセージ

医療機関の機能分化・強化が進む中、リハビリテーションも地域に特化した強い連携が必要と考えております。回復期、維持生活期リハビリ施設の皆さんや、介護保険におけるリハビリテーション、在宅医療等と一丸になれるよう、今後も広い視野を持ち急性期リハビリテーションの役割を果たしたいと考えます。（リハビリ見学や研修会など、ご要望などがあればお申し付けください。大歓迎です！）

麻酔科

外来診察を開始しました！麻酔科外来は、どこにあるの？

麻酔科は、手術室での全身麻酔手術症例の管理を中心とした麻酔業務と総合集中治療室（GICU）6床での術後患者をはじめとした重症患者の管理を行っています。また、新病院では、手術前早期から全身状態の管理に注意を払うことと、患者さんに安心して手術・麻酔を受けていただくことを目的に、**麻酔科術前外来を新設**しました。

どこに、外来受付があるの？

外来用エレベーター（シースルーエレベータ）を３階で降りて右手側に、28「麻酔科外来、日帰り手術センター、手術説明センター」の受付があります。現在、麻酔科指導医６名、麻酔科専門医５名、麻酔科認定医８名が、交替で外来診察を行っています。

▶写真左は受付の北村さん

麻酔科科長

進藤 一男

院長補佐、手術・集中治療担当部長
麻酔科科長
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会麻酔科指導医・専門医
日本小児麻酔学会認定医
日本麻酔科学会代議員

放射線センター
放射線診断科
・
放射線治療科

放射線科では、全身を対象とします！

～最新の医療機器を用いた画像診断から、放射線を使ったがん治療まで～

診断科の紹介

- 他科主治医からの依頼のもと、CTやMRI装置を主としたコンピュータ断層撮影を用いて体の中を調べ、依頼医にレポート報告をしています。
- PET検査では、悪性腫瘍の早期発見や進行度を調べています。
- カテーテルを使った画像診断や塞栓術も行っています。

治療科の紹介

２台の高精度照射装置を用いたがん治療を行っています。その結果、癌の形に合わせて照射野の形を変えたり、放射線の濃度を調整（IMRT：強度変調放射線治療）したりして、病巣に放射線を集中させることが可能です。また、ピンポイント照射や呼吸による病巣の移動にも合わせた治療ができるようになりました。

何をするの？

麻酔科外来って何をするの？

❶全身状態や病歴を把握し、適切な麻酔法を選択するための診察追加検査や他科受診が、必要となることもあります。
❷全身状態や手術内容に応じて適切な麻酔法を提示し、その注意事項や危険性を説明(同意を頂きます)。
❸手術前のコンディションを整えていただくためのアドバイスと指導。

手術や麻酔に関する不安や疑問をより早く取り除き、手術当日まで安心してお過ごしいただければと思っています。

麻酔科の特色

新生児から高齢者までの心臓・大血管手術の麻酔
- 当センターは、心臓血管麻酔専門医認定施設です。
- 多数の心臓血管麻酔に精通したスタッフが揃っています。

呼吸器外科手術の麻酔
- 年間200例以上の呼吸器外科手術の麻酔を行っています。

小児麻酔
- 小児麻酔に精通したスタッフ(日本小児麻酔学会認定医)が多数従事しています。

産科麻酔
- 開院後9ヶ月で200件以上の帝王切開手術の麻酔管理を行ってきました。
- 超緊急の帝王切開手術では、手術申し込みから10分以内で手術が開始できる体制を整えています。

前県立尼崎病院に赴任して16年になります。当初は一人医長でしたが、現在は総勢６名となりました。新病院移転を機に、県立尼崎総合医療センターの放射線科は診断科と治療科に分かれ、それぞれの放射線科医が、得意とする分野で活躍できるようになりました。

放射線センター長　放射線診断部長

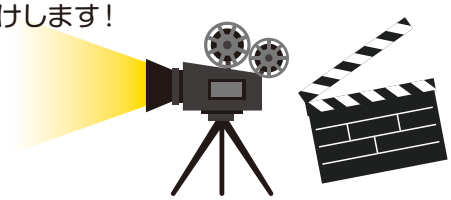
木村 弘之

日本医学放射線学会診断専門医・指導医
マンモグラフィー読影認定医

上段左から：植木治療科医長、乗本医師、尾谷医師、細野教授(PET指導医)、鳥巣秘書
下段左から：奥村治療科科長、木村センター長、金柿診断科科長

県立尼崎総合医療センターから 職員手作りの医療動画をお届けします！

AGMC Movie Channel
（動画配信）のご案内



県立尼崎総合医療センター（AGMC）では、医療連携及び医療・介護連携の充実と推進を目的とし、AGMCの診療機能の広報、地域医療連携のスキルアップ、住民への健康啓発等を内容とした動画配信（AGMC Movie Channel）を3月末より開始しました。

下記の動画コンテンツ３本を作成しましたので、当センターホームページ上でご覧ください。

閲覧方法

当センターホームページ（http://agmc.hyogo.jp/）のトップページ下段の
[AGMC Movie Channel] アイコンをクリックしてください。

配信動画コンテンツ

❶

❷

❸

①県立尼崎総合医療センター 施設と診療機能のご案内

新しく開院した「県立尼崎総合医療センター」の最新の施設や設備、高度な診療機能の特徴について

②基本的なストーマケア ～装具交換～

ストーマ（人工肛門）をお使いの患者さんやご家族の方に、排せつ物の廃棄方法から、正しい装具の剥がし方、装具の装着の仕方など、基本的なケアについて

③家庭でできる体操シリーズ《ヘルニア腰痛体操》

家庭で気軽に取り組んでいただける体操シリーズの第１回目、「腰痛体操」。

注意！ 決して無理はせず、動かせる範囲で少しずつ行ってください。

AGMC職員が業務を終えてから、コツコツと企画→撮影→編集した手作りの動画です。
至らぬ点もありますが、これからもコンテンツを少しづつ増やしていきたいと思います。（AGMC-Studio）

2つの当院企画セミナーのご案内

多くの方のご参加を！

第57回市民健康公開講座「市民すこやかセミナー」

テーマ

● 風邪は万病のもと、お口のバイ菌も万病のもと
－お口をきれいに保つことは、健康で長生きの助けとなります！－

講 師：県立尼崎総合医療センター
▶歯科口腔外科 歯 科 医 師　藤村 和磨
歯科衛生士　後藤 恭子

【日　時】平成28年5月17日（火曜日）
午後2時～3時30分
【場　所】県立尼崎総合医療センター　講堂（1階）
参加費：無料（予約不要）

★お問い合わせ：地域医療連携センター
☎ 06-6480-7000（代表）

第4回 生活習慣病セミナー

テーマ

● 『新国民病！？ロコモティブシンドローム
～寝たきりにならないために知っておくべきこと～』

講 師：県立尼崎総合医療センター
▶医　師　三浦 寿一
▶栄養士　前田 珠美
▶理学療法士　馬袋 信也

【日　時】平成28年5月24日（火曜日）
午後2時～4時
【場　所】県立尼崎総合医療センター　講堂（1階）
参加費：無料（予約不要）

★お問い合わせ：外来Bブロック（糖尿病・内分泌内科）看護師
☎ 06-6480-7000（代表）

スタッフのつぶやき

ボランティア(移動図書担当)の皆さんって…!?

図書で癒しを提供します！

ボランティア　移動図書代表　井口 廣子

初めまして！　移動図書ボランティアのご紹介をさせていただきます。

入院生活の中に癒やしを提供できるように活動しています。

活動時間ですが、毎週木曜日の午後1時半頃から病室をまわって本の貸し出しを行っております。また、外来の図書コーナーの本の整理もしております。

塚口病院・尼崎病院から引き続いて活動をするメンバー、新メンバーもおり、以前と比べて格段の広さと迷路のようなレイアウトに戸惑いつつも、ご本をお読みになられた方の感想などを聞かせていただくのが楽しみです。

ご不用になられた本をご寄贈くだされば大変嬉しく思います。よろしくお願いいたします。

※ボランティア活動にご興味のある方は、お近くの看護師にお問い合わせください。(看護部ボランティア担当　藤原理津子)

ぶらり～っと病院探訪

がん相談支援センター・がん相談室

ご存じですか？ がん相談支援センター

今回は患者さんの心に寄り添い、がんに関する様々な相談に応じながら患者さんを支える『がん相談支援センター』を訪ねました。皆様、当院の『がん相談支援センター』(※)がどこにあるかご存じでしょうか？

正面玄関上の2階にある部屋番号26が、**「がん相談室」**です。こぢんまりとした、日差しの入る(少し西日は強いです!?)明るい部屋です。**「がん相談室」**では、がん専門相談員が、院内・院外問わず、がん患者さん・家族の方・一般の方のがんに対する不安や疑問に適切に対応したり、その人らしい生活や治療選択ができるように支援するなどの**相談業務**と、患者サロン**「はなみずき」を企画運営**されているそうです。

相談者は、患者：家族がほぼ同比であり、統合編成後院では院外の相談件数が増加し、統合後の新病院への関心度や期待感が高いと感じられます。相談内容は多岐に渡り、がんはまだまだ死をイメージする病気であり、今までの当たり前の生活が崩れていく事への恐怖感を抱え「何をどうしたら」と日常性・自分を見失い相談に来られます。頭の中で絡んでいる事を整理し、次の手立てを一緒に考え寄り添う関わりを常に心がけておられます。また、専門的な回答が必要な場合は他職種と連携し、きめ細やかな対応ができる体制をとっておられます。

患者サロン「はなみずき」は、隔月に専門職種による講話を主体に質問・意見交換の時間を設けてきましたが、次年度は患者さんの交流の場、語らいの場への運営を企画中だそうです。「各種がん冊子、緩和ケア・食事に関するパンフレットや兵庫県患者会・研修会の案内などを用意していますので、お気軽にお立ち寄り下さい」と締めくくられました。

※「がん相談支援センター」は、がん診療連携拠点病院に必ず設置されている相談窓口で、がん患者さんに対する相談支援と情報提供を実施しています。

編集後記

4月号をお届けします。4月といえば桜と思っている私ですが、編集後記を書いている時点では全く見かけません。東にある庄下川沿いも桜並木となるのでしょうか。7月の開院からまだ季節が一巡していないのでよくわかりませんが、新たな景色を期待しています。気温のほうは十分春を感じられる暖かさです。とはいえ、変化の大きい季節の変わり目ですので、体調管理には十分気をつけましょう。　(T.K.)

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000(病院代表)　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社